

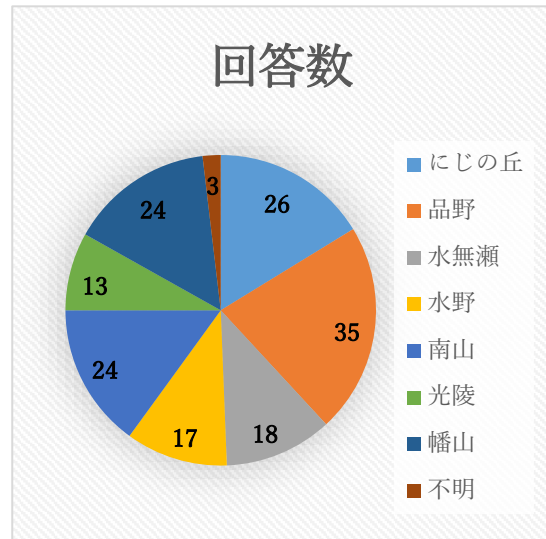
せとまちトークアンケート結果

・ アンケート実施期間	令和3年5月1日～31日	
・ アンケート方法・回答数	ネット	39件
	アンケート用紙	121件
	合計	160件

【回答者の属性】

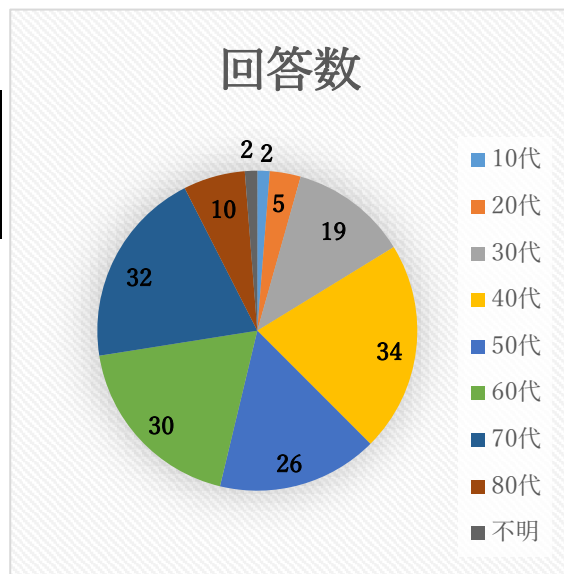
1 地区（中学校区）

に じ の 丘	品 野	水 無 瀬	水 野	南 山	光 陵	幡 山	不 明
26	35	18	17	24	13	24	3



2 年齢

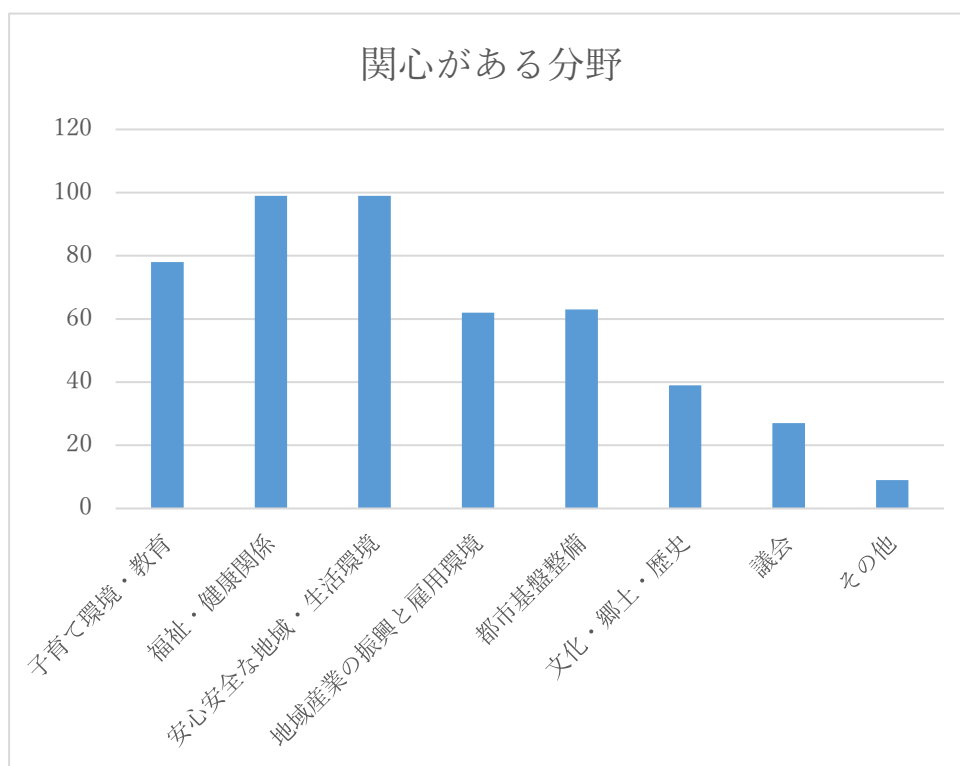
10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	不 明
2	5	19	34	26	30	32	10	2



【関心がある市政分野】

1 全体

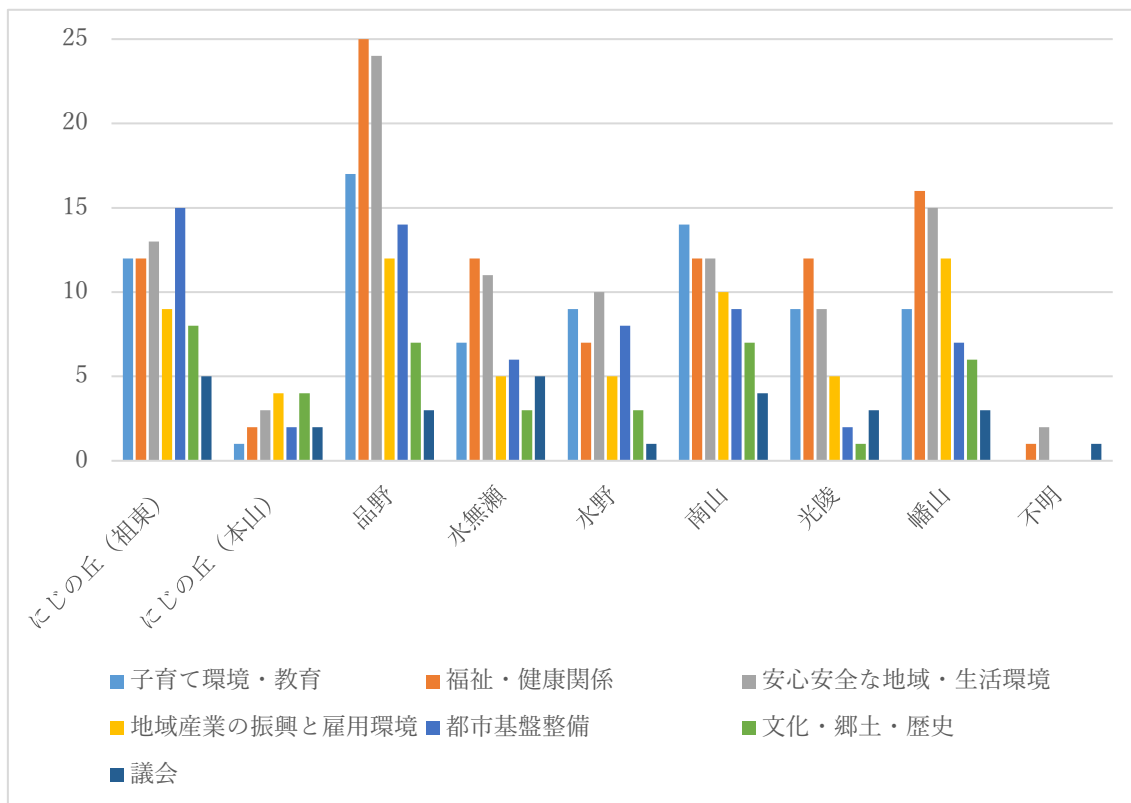
子育て 環境・ 教育	福祉・ 健康関 係	安心安 全な地 域・生 活環境	地域産 業の振 興と雇 用環境	都市基 盤整備	文化・ 郷土・ 歴史	議会	その他
78	99	99	62	63	39	27	9



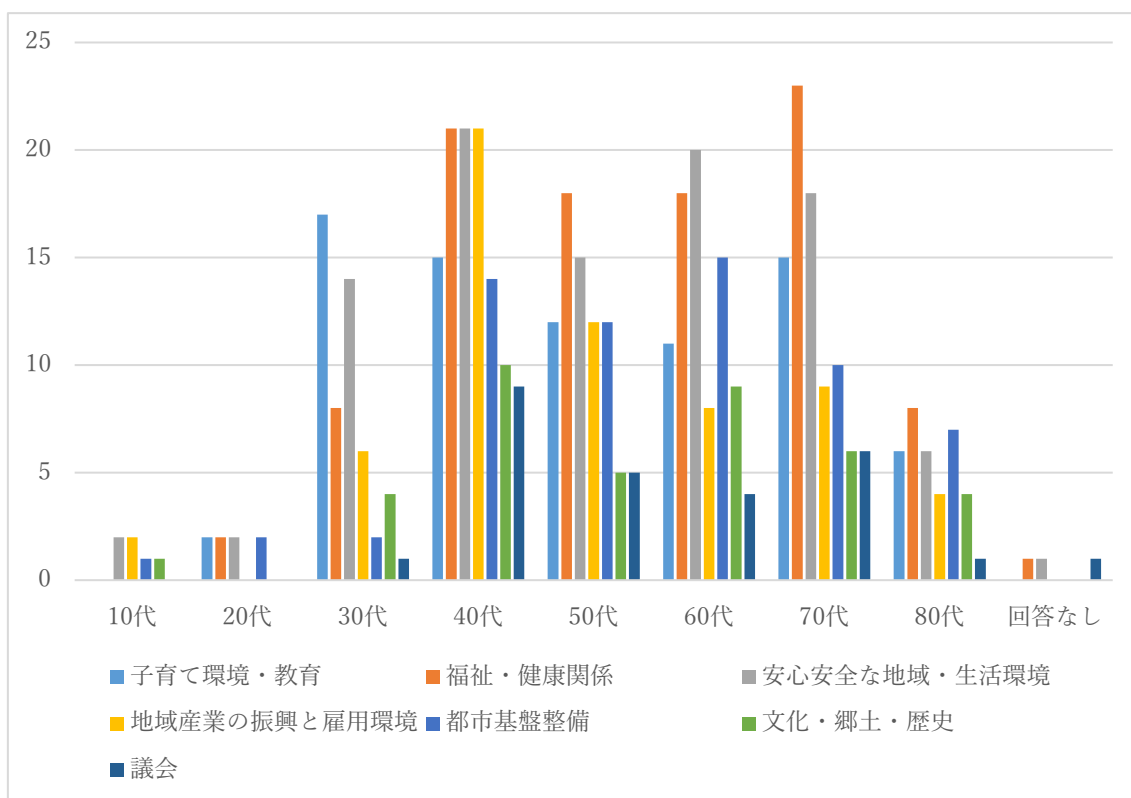
その他

- ・市民の血税で瀬戸市の職員と政治家の方たちが「真面目に」仕事をなさっているか、市役所に赴いたときや昨今の議会の動画などから非常に関心を持っています
- ・土地に関して
- ・瀬戸市で仕事をしたいと思えるような施策をしてほしい
- ・市の財政
- ・アニマルウェルフェアへの取り組み
- ・コロナ
- ・新型コロナワクチン、平和安全な暮らしが出来ますように
- ・全てに関連してくる

2 年代別



3 エリア別



【危機管理関係】

- ・ハザードマップ年数回の回覧と避難所や避難方法、防災備蓄用品、ローリングストックの仕方などの一覧を全戸に配布（梅雨入り前・台風シーズン時など）
- ・各家庭向け防災備蓄用品作成講座、防災体験会の定期的な実施
- ・小型の発電装置・蓄電池・水素を組み合わせることで連区ごとに災害時の電源確保[太陽光、水力、風力、地中熱交換など]

【広報関係】

- ・ネットを活用した広報以外に、広報紙への綴じ込みや回覧板を活用
- ・広報紙に子ども向けのコーナー（クイズ・プレゼント）
- ・魅力発信の強化 （4件）

【まちづくり関係】

- ・居場所づくり（若者等） （2件）
- ・自治会の在り方・発展 （2件）
- ・地域コミュニティの再生
- ・当たり前の生活が維持できる必要最低限の「公助」（災害対応含む）を確保し、「自助」と「共助」を積極的に市民に働きかける
- ・ジェンダーフリー（制服）
- ・集会施設が少ない
- ・地域に病院や買い物できる場所が不足している

【施設関係】

- ・市の土地（跡地）の有効利用（起業希望者へ貸出、瀬戸染付、赤津焼、ガラス工房などのせと体験学校、スポーツ施設、グランピングやカフェ） （6件）
- ・市の施設の改築、改装、整備 （2件）

【政策立案関係】

- ・住んでよかった、住んでみたい、暮らしやすいまちづくり（若者を呼び込む、持続可能、高齢者も楽しめる、ダサイと言われない、女性の声を反映、活発、孤立しない）
（13件）
- ・核兵器禁止条約への参加を県や国に訴える （2件）
- ・若者のプロジェクト参加機会の創出（市政へ興味を持つ）
- ・他自治体を参考にして瀬戸市をより良くする
- ・瀬戸市の価値の共有化と戦略の見直し
- ・窯業高校の4年制大学への昇格

【情報環境整備関係】

- ・パーティセとのWi-Fi環境整備

【財政関係】

- ・財政の健全化の監視（補助金で大盤振る舞いするような事業等）

【職員採用関係】

- ・職員を市内在住・出身者から採用 （2件）
- ・やる気のない職員は退職

【安心安全関係】

- ・交通安全
- ・防犯対策でどのようなことに力をいれているかわかりやすくしてほしい
- ・安心安全なまちづくり

【税金関係】

- ・税金が高い（若い人が魅力を感じない、強みや評価点がないのに発展した市と同レベルで課税） （2件）
- ・消費税の廃止

【印鑑登録手続き関係】

- ・夜間、土日の印鑑登録 （2件）

【ごみ関係】

- ・ごみの活用方法（生ごみ・落ち葉などでバイオマス発熱・発電・堆肥化、粗大ごみ・資源ごみのリユース、ミックスペーパーで瀬戸ブランドの商品製作、せとものものサステイナブルな取り組み） （4件）
- ・資源ごみの細分化、回収種類の増加、新技術を導入して再資源化、再生可能エネルギー発電・発熱への転化などし、ごみ有料化を回避 （2件）
- ・エコプラザの復活、資源リサイクルセンターの新設 （2件）
- ・ごみから発電した電気、お湯を日常使いに活用
- ・木の伐採、ごみ清掃（目鼻石付近）

【環境保護関係】

- ・脱炭素社会を目指して、2030年までの具体的な目標を掲げる
- ・多様な小規模再生可能エネルギー発電を進めてエネルギーの地産地消体制の整備

- ・ 大学・企業と連携して再生可能エネルギーの利用促進
- ・ 太陽光パネル・蓄電バッテリー、太陽熱温水器、雨水槽の公共施設への設置
- ・ 再生可能エネルギーで発電した電気で、EVバス(電源カー)を走らせる
- ・ 環境保護のため、石油由来のプラスチックから植物由来のプラスチックへ切り替え
- ・ 花の名所を作る
- ・ 品野の自然環境の保全
- ・ 集水器設置補助
- ・ 里山の再生[林業ボランティア・担い手育成講座] (イノシシ対策)
- ・ 間伐材を使って、登り窯で焼き物を作るイベント
- ・ ネイチャー体験会、林女募集、植林体験、収穫祭(筍、山菜、きのこ)
- ・ フローリング材、木質ペレット、建築資材(GLT)、仮設住宅キッド、薪ボイラー燃料
- ・ 薪ボイラーで作った熱の供給販売、温水プール、木皮をバイオマス発電燃料
- ・ イノシシ被害の対策(実態調査、対策講習会、防護柵等の費用補助等、人材育成、処理方法等)

【アニマルウェルフェア関係】

- ・ 犬猫の殺処分ゼロ、養鶏のバタリーケージ廃止 (2件)

【障害者関係】

- ・ 障害者手当(廃止理由が知りたい、手当がほしい) (2件)
- ・ 障害者の就労機会の創出(特例子会社の設置) (2件)
- ・ 成人の障害者等が安心して暮らせる制度の創設
- ・ 「真に効果のある障害者施策の実現に向けた事業について」障害者個人が選択できる障害者福祉政策・施策について議論を深める
- ・ 障害者とのふれあい

【生活支援】

- ・ 生活支援制度(水道代、電気代、電話代等) (2件)
- ・ フードドライブの活用促進
- ・ 核家族への支援

【社会福祉関係】

- ・ ボランティアの養成
- ・ 福祉の交通網の整備不足
- ・ ひとり暮らしの人の安心安全や買い物などきめこまかく対応
- ・ 障害、福祉、子育ての3つの分野で総合したダブルケア・ヤングケアラーを含む相談

支援体制 (2件)

- ・ いじめのない社会

【高齢者福祉関係】

- ・ 福祉、高齢者施設へ入りやすく
- ・ 高齢者台帳に実効性を持たせる
- ・ 独居世帯に自治体が積極的に訪問（認知症のリスク回避）
- ・ 高齢者が集まり、楽しめる場所の確保
- ・ 高齢者の利便性向上
- ・ 老後の暮らしに不安
- ・ 老人介護の充実
- ・ 高齢者福祉 (2件)

【国保・年金・介護関係】

- ・ 年金が65歳からすぐもらえるとよい
- ・ 国保や介護の保険料の引き下げ (2件)

【子育て支援】

- ・ 子育て環境の充実、支援 (4件)
- ・ 子ども対策は重要
- ・ 子どもを全力で育てる
- ・ 親の収入で子に格差のない仕組み
- ・ 子育てしている立場として学校・病院など利用しやすくしてほしい
- ・ 公立でも学童が必要
- ・ 未就学児の遊び場の充実、児童館、支援センターが少ない (2件)
- ・ 子育てしながら働くことが難しい
- ・ 働きながら子育てするという視点から日々の生活がよりよくなって欲しい
- ・ 子育て支援が不十分（産後ケア（助成金・HP案内）、検診（2週間検診）、出産祝い、妊娠祝い）

【保育園関係】

- ・ 利用しやすい保育園、保育料、障害児への支援の充実
- ・ 民間保育園との懇談会の実施
- ・ 保育士不足に対するひも付きではない市単独の補助
- ・ 保育園の選択肢の充実
- ・ 保育士の給与、待遇等の充実

【ワクチン接種関係】

- ・新型コロナワクチン接種の予約の簡素化（ネット予約は困難、予約がとれない、日時の指定をしてはどうか等）（4件）
- ・接種会場へのアクセス（高齢者の送迎、本山中学校での接種の実施、アクセスが悪い）（3件）
- ・社会的検査、モニタリング検査の強化
- ・当日キャンセル分のワクチン接種のルールの明確化
- ・エッセンシャルワーカーや教員・保育士などのワクチン優先接種
- ・新型コロナワクチン接種の環境整備
- ・ワクチン接種を早める
- ・新型コロナウイルスが心配

【その他健康関係】

- ・学校の女子トイレに生理用品を配備し、「月経衛生・健康についての教育」を実施、生理用品の支給（2回/年）（2件）
- ・健康で安心安全に過ごせるまちづくり
- ・健康情報の提供

【教育環境関係】

- ・子どもだけで買い物できる環境の提供（文房具、駄菓子等）
- ・快適な学習環境の形成（学生・社会人）
- ・オルタナティブスクールや、フリースクールへの補助等の支援
- ・次代を背負う人材の育成

【学校関係】

- ・にじの丘の児童の送迎の負担が大きい
- ・小学校3校の1校化
- ・学校への給水機の設置（熱中症対策）
- ・1年生下校時の引率の学童擁護員の配置
- ・給食に無農薬、有機野菜を利用し、安全で持続可能な食への取組推進
- ・学校と保護者のコミュニケーションのデジタル化
- ・土砂災害警戒区域の指定の学校（品野台小学校）の安全確保
- ・学校のデジタル化に伴う環境整備等のための家計への負担を軽減する取組
- ・学校からの手紙を小学生も理解できるようにしてほしい
- ・子どもに理科（実験）や仕事体験を実施
- ・教育予算の充実、学校施設の向上

- ・少人数学級の実施
- ・学校での問題に深く関わってほしい
- ・差別・貧富の差のない教育（修学旅行に行けない子がいる）補助検討

【図書館関係】

- ・図書館を平地で利便性が良いところへ移設 （2件）
- ・図書館内部施設として、長久手図書館の様におかあさん食堂を設置
- ・図書館の充実

【まちの活性化関係】

- ・大型商業施設や遊興施設（キャンプ場やフォレストアドベンチャー等）等の誘致 （5件）
- ・瀬戸ノベルティとロリータのコラボ（映えスポットの活用、撮影スタジオ開設、衣装用ソーイング工房開設）
- ・銀座、末広の商店街のスムーズな接続
- ・サテライトオフィス、シェアハウス、リノベーション[店舗・宿泊施設]、貧困家庭への住宅提供（空き家対策）
- ・商店街のシャッター化対策（観光客の「トイレ」「休憩」「食事」の場所が少ない）（2件）
- ・商店街、パルティの家賃を新規参入しやすい価格設定にし、空き店舗対策 （2件）
- ・家族で楽しめる施設
- ・パルティせとの施設単価が高い

【労働環境関係】

- ・若者が住みたくなるまちづくり（労働環境の改善）
- ・福祉に関わる仕事の職員の処遇改善
- ・雇用確保

【やきもの産業関係】

- ・やきもの産業の技術レベル向上、振興、PR （3件）

【市営プール関係】

- ・水泳教室、練習用スペースと補助具、ライフセーブ講習、着衣水泳教室
- ・水中レーンの確保、更衣室に人工芝、営業期間の延長

【文化・歴史関係】

- ・瀬戸市の歴史を作る部が廃止の危機
- ・歴史でもあるやきものを大切にしてほしい

【観光関係】

- ・循環バス(EVバス電源か)ボンネット型の運行
- ・観光案内所でインターネット検索、地図・クーポンなどのプリントアウトサービスの実施
- ・瀬戸蔵ミュージアム 常設展、特別展料金を設定
- ・点茶コーナーで、月1回子ども向けの点茶体験会
- ・主な観光ポイントを有料で送迎できるシステムの構築(瀬戸蔵、文化センター、こども創造館、岩屋堂、定光寺等)
- ・転入者へ資料館の無料券配布
- ・観光客に滞在して楽しんでもらえるまちづくり(せともの、将棋)
- ・観光客用PR不足

【公共交通機関の充実、利便性の向上関係】

- ・公共交通機関の充実(買い物、病院、公園、図書館等) (8件)
- ・名鉄バスの利便性向上(本数が減り、土日出勤が不便) (4件)
- ・コミュニティバスの利便性の向上(名古屋方面、高蔵寺方面へ運航)

【道路整備関係】

- ・尾張瀬戸駅前の交通環境関係(尾張瀬戸駅前の道路の信号が不便、歩道に屋根がない、特にアピタ付近に自転車専用の歩道整備、西本町の交差点が狭く渋滞) (4件)
- ・陶生病院前の踏切付近の渋滞解消
- ・道路整備による安全確保(車が通行しやすく自転車も安全に通行可能な道路、歩道がない、赤津地区等) (9件)
- ・バスの停車に伴う渋滞の解消 (2件)
- ・八王子の道路開通 (2件)
- ・都市部から自然環境へのアクセス改善
- ・瀬戸川一矢田川サイクリングロードを繋げ、ゴールの町瀬戸をPR
- ・市内交通アクセスの利便性向上(国道、県道、市道) (2件)

【ハード面整備関係】

- ・瀬戸市が住居地として認可した土地の地盤に問題があり、転居せざるを得ない状況となった家庭に、住居再購入の支援ができる仕掛けづくり

- ・愛知環状鉄道瀬戸口駅のエレベーターの設置 (2件)
- ・メイン道路、公共建物、周辺的美観（清掃）
- ・ウォーキングできる安全な場所が欲しい

【道路・河川的环境整備関係】

- ・通学路の草刈（PTAの除草許可）
- ・河川周辺的环境整備（矢田川、水無瀬川）
- ・矢田川の大雨の際の増水対策（県への働きかけ）

【公園関係】

- ・魅力的な児童公園整備（大型遊具（バスケットボールやフットサルスペース、スケートスペースなど）、公園を広く、品野7丁目に、古瀬戸の公園に遊具を等） (8件)

【議会運営関係】

- ・市議会のクォータ制導入
- ・市民の意見を聞く（若者、地元以外、少数意見等） (6件)
- ・優秀な議員の斬新的で前向きな政策・施策について議論を深める
- ・市民との距離を縮め、現場、現物、現地確認 (2件)
- ・子育て中や仕事中でも議会に声を届けられるアンケートの継続 (3件)
- ・意見聴取方法への問題提起（議会としてすべきことはわかっているはず、市民から要望をきくことが問題） (2件)
- ・透明性がある市議会の継続
- ・委員会審査の向上
- ・議員の活発な議論
- ・議会では質問するのみでなく、改善結果の確認も行うべき
- ・議員の若返り（平均35歳）
- ・汗を流して働くべき
- ・市民目線で行政を導いてほしい
- ・議会活動の広報強化 (5件)
- ・議会報告の場を多く設定 (2件)
- ・市民と行政が共に前進するための潤滑剤機能 (2件)
- ・市議としての問題意識を明示
- ・課題の共有、取り組み状況のすり合わせ等
- ・市議としての問題意識を明示
- ・給料に見合う成果を自分たちで市民に知らせる努力をしてほしい
- ・議員報酬削減

- ・ 議員のマニフェスト実現見通し
- ・ 議員に対して質問するが的確な回答がない
- ・ 議員の紹介がない「陳情」は十分に検討されない慣行はやめるべき
- ・ 市政のチェックと市民の各層の意見をよく聴いて、市政に反映させること
- ・ やる気のない議員は退職